

コウテイペンギンから考える 新・南極ガバナンス

共催：神戸大学極域協力研究センター（PCRC）

（TBC）大学共同研究機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所（NIPR）

第3回となる今回のシンポジウムの主役は「コウテイペンギン」です。気候変動の影響で南極の氷が消失し、コウテイペンギンの繁殖が壊滅的影響を受けています。このような南極をめぐる諸問題を解決に導くために南極ガバナンスはどうあるべきか？ 外交、生物学、国際法学の専門家が徹底的に議論します。

12/2

（土）

13:30～15:30

神戸大学第一キャンパス第五学舎

4階プレゼンテーションルーム

※Zoomによるライブ配信も予定

基調講演 中村和彦

「南極の環境を取り巻く国際的取組と日本：
主に国際法の観点から」

基調講演 渡辺佑基

「ペンギンと気候変動」

講演 柴田明穂（神戸大学・国際法）

「切っても切れない？ 南極科学とガバナンス」

パネルディスカッション

パネリスト：中村和彦、渡辺佑基、柴田明穂、
伊村智（国立極地研究所・植物分類/生態学）

司会：木村ひとみ（大妻女子大学・気候変動法政策）

講師：中村和彦 審議官
外務省国際法局



1992年外務省入省。国際法局経済条約課長、在仏大使館公使、G7・G20サブシェルパ（首脳次席補佐）などを歴任。本年9月から国際法局審議官を務める。

講師：渡辺佑基 教授
総合研究大学院大学
統合進化科学研究センター



ペンギン、アザラシ、サメなど海の動物に小型の計測機器を取り付け、生態を研究する。著書に「ペンギンが教えてくれた物理のはなし」（河出書房新社）など。

★現地参加を予定される方は 10月30日（月）までにメールでご一報下さい（定員30名）

連絡先：シンポジウム事務局 [pcrc.symposium@gmail.com]

Zoomウェビナー視聴の登録は、

11月1日（水）より専用HPでご案内予定です。